

令和5年2月  
水産庁

## インド洋まぐろ類委員会（IOTC）特別会合の結果について

### 1. 開催日時

- 対面（ケニア）及びウェブ会議形式で開催。
- 令和5年2月3日（金）から2月5日（日）まで。

### 2. 参加メンバー等

- 日本、韓国、南アフリカ、EU等26カ国・地域。
- 我が国出席者：鹿田水産庁資源管理部国際課海外漁業協力室長（政府代表）ほか、水産庁、外務省等。

### 3. 結果概要

インドネシア等による集魚装置（FADs）の規制提案（※）について採択された。

※集魚装置（FADs）提案の主な内容（2024年1月から実施）

- (1) FADs 数制限（1隻あたり最大設置数250個（2025年まで）、200個（2026年以降）、年間取得数300個まで）（現行：設置数300個、取得数500個）
- (2) 生分解性素材の段階的（2027年まで）義務付け
- (3) 2023年の科学委員会での助言を踏まえて2024年の年次会合でFADs禁漁期を採択する。科学委員会が検討に必要なデータが不十分とした場合は、予防的措置として禁漁期（7月1日～9月11日）を導入する。
- (4) 懸垂部の長さを50mに制限
- (5) 2024年以降の支援船全面禁止（まき網船2隻以下の場合を除く）
- (6) ブイデータの監視システムを2026年から開始
- (7) 紛失時の72時間以内通報